

ゆっくる新聞



FREE /
無料

2021.12
Vol.17

ゆっくる新聞は
まちぐわー（商店街）案内所
「ゆっくる」が発行しています。



まちぐわーあんやたん！
牧志公設市場雑貨部&衣料部編

1951-2022



これまで長い間ありがとうございました。

なは やさ やさ 野菜を食べに行こう!!プロジェクト

「なはベジ」とは、自炊に限らず、外食やテイクアウトの利用が多い人も気軽に野菜を食べてもらえる環境を作ろうと、2021年6月からスタートしたプロジェクトです。

これが50gの野菜の目安！
2つ選んで+100gを達成しよう！

あと +100gを達成するコツ
野菜を増やしたいけど、100gってどのくらいの量なの？とお悩みのあなた。写真のような野菜の量を参考に買い物してみてください！

なはベジ協力店

「なはベジ協力店」に登録しているお店は、野菜を100g以上使ったメニューがある飲食店、または野菜を100g以上販売しているスーパーや八百屋などのお店を、「なはベジ協力店」として登録しています。

なはベジ協力店は、お店の入り口にはなはベジステッカーを貼っています。なはベジ協力店の情報は、QRコードを読み取ってチェック！

welcom! 移転する店舗情報

雑貨部 衣料部

- 豊里呉服店**
住/那覇市牧志3-2-30 1F
☎/098-866-5789
営/9:00~18:00
休/年中無休
- ちゅら衣**
住/那覇市樋川2丁目3番1号
123-10 ☎/080-1708-8679
営/11:00~17:00
休/日曜
- きくむら**
住/那覇市牧志3-2-41 1F
☎/090-1940-8832
営/10:00~17:00
休/第2水曜、第4日曜
- 内嶺呉服店**
住/那覇市牧志3-3-1
☎/090-9782-1904
営/10:00~17:00
休/日曜
- 新城呉服店**
住/那覇市牧志3-3-8
☎/098-868-8182
営/11:00~18:00
休/日曜
- 仲松呉服店**
住/那覇市牧志3-3-1
☎/090-7466-8979
営/不定
休/不定休
- 玉城化粧品**
住/那覇市牧志3-2-45
☎/098-863-4565
営/10:00~18:00
休/日曜
- さくら・あんりボク色の風工房**
住/那覇市松尾2-11-20
☎/098-866-6827
営/10:00~18:00
休/日曜
- ABC**
住/那覇市牧志3-3-1
☎/090-7383-6113
営/10:00~18:00
休/第4日曜
- 平和通り似顔絵**
住/那覇市牧志3-3-9
☎/090-1859-8088
営/10:00~18:00
休/不定休

重箱編 まちぐわーで いよいよ正月準備

お正月の重箱の中身をまちぐわーで購入しませんか？まちぐわーでは、重箱の中身に欠かせない食材を販売しています。初めての重箱作りも安心！店主達からアドバイスを貰いながら作ってみましょう。

1 揚げ豆腐 2 ターニム 3 かえしこんにやく 4 結び昆布 5 紅白かまぼこ 6 茹でごぼう 7 天ぷら 8 三枚肉

ワンポイント

- お正月の重箱には、結び昆布を使う
- お正月はお祝い事なので、赤いかまぼこが真ん中に入る
- 三枚肉は、皮の部分を下にする

重箱の中身が買える店舗

1 呉屋てんぶら屋 住/那覇市松尾2-7-10 第一 住/那覇市松尾2-11-1 ☎/098-868-8782 営/9:00~18:00 休/不定休	2 城間田芋店 住/那覇市松尾2-7-10 第一 住/那覇市松尾2-11-1 ☎/098-863-0695 営/10:00~15:00 休/日曜 ※電話注文をお願いします。	2 田芋の店 渡口 住/那覇市松尾2-7-10 第一 ☎/090-1948-4742 営/9:00~15:00(年末は要 望に応ず) 休/日曜、不定休 ※電話注文をお願いします。	3 おみやげの店 はる 住/那覇市松尾2-7-10 第一 住/那覇市松尾2-11-1 ☎/098-861-8991 営/9:00~15:00 休/日曜 ※電話注文をお願いします。
4 山城こんぶ (ゴボウやこんにやくも販売) 住/那覇市松尾2-7-10 第一 住/那覇市松尾2-11-1 ☎/070-5274-3289 営/10:00~18:00 休/日曜、 第4日曜(12月を除く)※受取の 1週間までに電話注文をお願い します。	5 かねこ蒲鉾店 住/那覇市松尾2-7-10 第 一 住/那覇市松尾2-9-17 ☎/098-863-3382 営/8:00~18:00 休/日曜	5 ジランパ屋 住/那覇市松尾2-9-17 ☎/098-863-3382 営/8:00~18:00 休/日曜	5 次郎屋かまぼこ 住/那覇市松尾2-3-1 のうれんプラザ218-2 ☎/098-855-6359 営/4:00~17:00 休/日曜 ※電話注文をお願いします。
6 瑞慶覧商店 住/那覇市樋川2-3-1 のうれんプラザ123-16 ☎/098-834-0317 営/11:00~18:00 休/月曜※正月の3日前まで に電話注文をお願いします。	7 てる屋 住/那覇市松尾2-8-43 ☎/098-866-6384 営/11:00~18:00 休/水、日曜※受取の2~3 日前までに電話注文をお願い します。	8 第一牧志公設市場1階肉部門 住/那覇市松尾2-7-10 ☎/098-863-0695 営/4月 ~10月 8:00~22:00、11月~ 10月 9:00~21:00 休/第4日 曜、正月、旧正月、旧盆※店舗 によって電話注文の場合あり。	8 知念精肉店 住/那覇市樋川2-3-1 のうれんプラザ117 ☎/098-832-8540・ 098-834-3866 営/5:00~19:00、日曜 10:00~ 休/不定休

※ご注文は各店舗へお問い合わせください。ゆっくるでは受け付けておりません。

なはーとが 開館しました。

文化・芸術を通して、人やまちを元気にし、魅力ある那覇を形成するための拠点地として、久茂地小学校跡地に「那覇文化芸術劇場なはーと」が開館しました。なはーとで公演を満喫した後は、まちぐわー（商店街）でお食事とお買物へ行きましょう！

「なはーと」の名称は「なは」に「ART」を組み合わせ、「なはART」の略称として決定しました。文化芸術が育むまちをイメージしています。

那覇文化芸術劇場なはーと
NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHArt
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3丁目26番地27号
TEL:098-861-7810/FAX:098-861-7870
MAIL:nahart@city.naha.lg.jp

無料で楽しめる
ロビーコンサートも開催。
詳細は、なはーとHPをチェック！

まちぐわーの情報発信やっています！

まちぐわー（商店街）案内所 ゆっくる

住所/那覇市牧志3-3-4
TEL・FAX/098-943-2110
営業時間/09:00~20:00(1/1のみ休業)

案内所・バリアフリーの多機能トイレ(オストメイト対応、ユニバーサルシートあり)・授乳室・一時休憩所

まちぐわー案内所 ゆっくる 検索

【お問い合わせ】E-mail:yukuru.info@gmail.com

QRコード: (web), (Facebook), (Instagram), (Twitter)

牧志公設市場衣料部・雑貨部のあゆみ 1951-2022

- 1947 開南交差点近くに闇市が形成される。
- 1948 那覇市が元公設市場の土地に闇市場の露天商人を集める。
- 1950 那覇市場が市営となる。
- 1951 4月 牧志公設市場雑貨部、第一牧志公設市場が開設。(テント張り)
8月 牧志公設市場衣料部が開設。
- 1963 牧志公設市場衣料部・雑貨部の瓦屋根で出来た市場が完成。



S30年代の瓦屋根の市場



エスカレーター前入口



エスカレーター前入口



40年前の新年会の記念写真(1、2列売場)



S34年、波の上参拝記念。



衣料部2階売場に展示していた打掛



2階にもあった着物市場



40年前、みんなで琉舞を観に。



30年前の雑貨部。



那覇まつり



トーカーを迎えても元気に販売、神村さん(3年前に閉店)



パラソル通りから見た衣料部



落ちない口紅、人気のひとつでした。



扇子もよく売れました。

- 2001 第二牧志公設市場が閉場。
- 2005 ダイナハが閉店。
- 2019 第一牧志公設市場の建て替えのため、仮市場へ移転。
- 2021 2月 施政方針において城間那覇市長が牧志公設市場衣料部・雑貨部を21年度末で閉場することを表明。

2022年2月末日をもって、70年の歴史に幕を下ろす。

協力・写真提供 地域情報誌「み〜きゅるきゅる」(発行:NPO法人まちなか研究所わくわく)



牧志公設市場衣料部 (きもの市場)

平和通り桜坂入口前にある、全国でも数少ない呉服・着物等の小売り専門店舗が集積している公設市場。京呉服、沖縄の織物、浴衣など、季節や行事、冠婚葬祭に合わせた着物が揃っている。全盛期は100小間以上の売り場が並んでいた。



みゆり呉服店

創業70年。店の名前は、みゆつとゆり子の2人で初めたので「みゆり」と名付けた。9年前から三代目へ。(新城 サエ子・平安座 静子)



真志喜呉服店

創業60年。母親から継いで二代目。復帰前は京都の問屋に買い付けに行ったり、招待で海外旅行へも。(真志喜春子)



玉城商店

着物の仕立てには、決まった縫い子さんがいた。別誂えや既製品を仕立てて販売した。(玉城勝子)



仲松呉服店

琉舞の衣装を扱う商売を始めて40年。若いころは琉球舞踊の踊り手であったこともあり、琉装のモデルとしてレジスターの広告に載った。(仲松洋子)



きんむら

創業50年。母親から継いで二代目。仲間と一緒に京都に仕入れに行き、買い付けが終わると温泉名所を楽しんだ。海外からのお客さんも多く、日系の人たちにもうちへ来て話すと喜ばれた。(比嘉園子)



内嶺呉服店

最初の売り場はとても小さく窮屈だった。そこから一番奥の少し広い売り場に移ったりと何度か移動を繰り返した。お客は離島の方が多い。下門さんは長い付き合いの仕事のパートナー。(内嶺富子・下門 辰子)



喜屋武商店

祖母が始めたお店。衣料部組合長として調整役や市や他の通り会との意見交換会などの役割を務めている。(木本宏有基)



翁長勝子

衣料部に入って40年。入った頃、翁長商店の看板を上げたが同性の方がいて、よく売り場を間違えられたのでフルネームに変更した。(翁長勝子)



おもしろもち屋

3代目店主。みたらし団子は特に人気があった。いなりも酸味がきいて独特の味わいがある。創業者が戦後すぐに通りに餅を売り始めた。並びでおにぎりを売っていた人も居た。(大城嘉代子)



ちゆら衣

着物雑貨店。紅型染めの帯、着尺の受注販売、小物類も製作販売。(伊佐幸)



新城呉服店

仕立ては初代が1人で仕上げた。仕入れに数人で京都へ行ったのは、懐かしい思い出。京呉服と米寿長寿祝用衣装専門店。(新城文子(初代)・圭子(二代目))



豊里呉服店

昭和30年代前半、瓦屋根の公設市場衣料部が完成し入居するまで魚・肉市場で着物の商いをしていたが匂いが大変だった。売った着物が魚臭いと返品されたこともある。それでも運よく働いた。売上げをカンカンに入れていた。このカンカンは命と一緒。今でも大事にしている。客は沖縄芝居の役者も多かった。(豊里ハツ)

あの時は、あんなだったよ〜

年末売り出しやカジマヤーなど沖縄の行事の時期には連日夜11時過ぎまで営業していたさ。

着物の買い付けは京都がほとんどだったが、京都問屋が沖縄まで来てくれて特設会場を設け、そこで仕入れる事もあったよ。

衣料部の中ほどに履物売り場コーナーを設け、その売上げで衣料部組合の必要経費の支払いに充てたりしたさ。



- ### 行事ごとの思い出
- 毎年2回(旧暦2月と8月)の屋敷拝み、市場の周りを壺屋、牧志、希望ヶ丘公園の拝所を巡り、市場の安全と繁盛を祈願した。
 - 毎年1回、運動会、ピクニックも行っていた。
 - 那覇まつりへの参加で、お揃いの衣装を仕立て、みんなでそれを着て演舞を披露した。
 - 新年会は雑貨部と合同で開催、歌をうたったり賑やかで楽しかった。



玉城化粧品店

初代オーナーのもとで美容部員として勤務し、オーナー引退後は店を継ぐ。(左から)玉城 理香、玉城 ケイ子、西田春代子、新里のみ子



アロエ化粧品がはま

祖母、母と3代目。祖母が商いを始め母の代で雑貨部に入り、輸入化粧品やテールクロスなどの雑貨を売っていた。母親の後は継いでからは、扇子やスカーフ、アロエ化粧品、エステを専門に。電話注文、配達も多い。(長浜恵子)



押し花絵工房

生の花を活かした小物や額縁を製作、販売。(安里友子)



資生堂さへら

資生堂化粧品店。エステは県外の固定客も多かった。(国古典子、照屋静江)



時来運転

中国雑貨、バッグ、アクセサリーを販売。「古物取扱免許」を保持。(名嘉麗芬)



あんり化粧品

資生堂化粧品店。店の名前は初代から。エステ歴16年。(富路エリサ)



ボク色の風工房

雑貨部に入って7年。タイ式リフレ技術。市場の方が多く10代〜90代と幅広い顧客。中学野球チーム代表及び指導者としても活動している。(崎向周作)



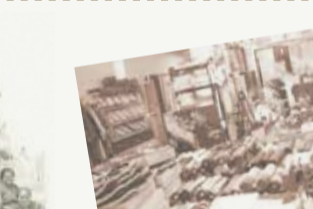
宮良

平成2年に平和通り一角でバッグ等の直しと染色を始め、平成24年に雑貨部に入る。地元の人定客が多い。バッグにお金を入れたまま持ち込む人もいた。また支払い済みで出来上がっているのに3年も受取りに来ない客もいる。(宮良哲夫)



平和通り似顔絵

似顔絵の店。客層は若いカップルが多い。(佐藤直行)



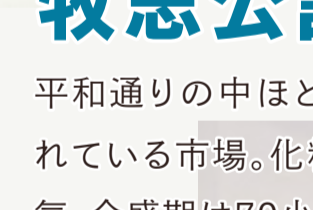
新垣商店

母親から二代目の婦人服の店。映画のナイトショーが終わった後の客を自当で夜9時頃まで営業していた店も多かった。(新垣カツ)



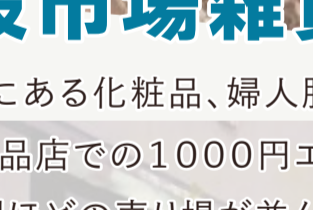
ファミンABC

婦人衣料の店。雑貨部の良さは色々な異業種の店があるので、あちこちの売り場を歩いてくれるし売場につながった。また、新年会や食事会などの交流も楽しい思い出。(与那覇澄子)



名護屋

平成2年に平和通り一角でバッグ等の直しと染色を始め、平成24年に雑貨部に入る。地元の人定客が多い。バッグにお金を入れたまま持ち込む人もいた。また支払い済みで出来上がっているのに3年も受取りに来ない客もいる。(宮良哲夫)



内間商店

20歳から61年、親の代から雑貨部で販売。家庭科で作製する学校教材用のパジャマや半ズボンの生地などを販売していた。(内間ノリ)

あの時は、あんなだったよ〜

当時はワイシャツを畳んで3枚分が半間(はんげん)で一人分のスペース。70軒ほどの小さい店ばかりが並んでいたね。

化粧品関連の店舗が多かった。資生堂、カネボウ、ナリス、メナード、ジュボン、パビリオ、オリリー、アロエ、カバマークなど。

雑貨部も昔はカバンや靴、花屋、肌着専門店など様々な雑貨を売る店が多かった。

年末売り出しの時期は、連日夜11時過ぎまで営業していた。

公設市場は台風などで何回も浸水している。靴屋の店先には必ずゴム靴を売っていた。当時は必需品だった。

まちぐわーあんやたん!

牧志公設市場雑貨部 & 衣料部編

戦後のマチグワーの発展に欠かせない存在であり、沖縄の助け合い(ゆいまる)を常に感じさせる市場。お祝いごとや行事の際には、家族みんなで晴れ着や小物を選んで楽しい思い出がたくさん詰まっている場所。皆さんの記憶の中に、大切に残して頂ければ幸いです。これまで長い間、ありがとうございました。